

受験番号

中部会計専門学校

模範解答

平成 22 年 度
第 125 回 簿 記 検 定 試 験

1 級

商業簿記・会计学

(制限時間 1 時間 30 分)

(1 級 4 科目 午前 9 時開始)

(平成 22 年 6 月 13 日(日)施行)

受験番号

第 125 回簿記検定試験答案用紙

生年月日 昭・平 . . .

試験地(会議所名)	採点欄

1 級 ①

氏名 _____

商 業 簿 記

決算整理後残高試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位: 千円)

採点欄

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	(6,782)	支払手形	(1,500)
受取手形	(4,000)	買掛金	(8,600)
売掛金	(12,000)	預り営業保証金	(400)
有価証券	(420)	貸倒引当金	(810)
繰越商品	(3,276)	未払費用	(36)
前払費用	(38)	未払法人税法	(400)
未収収益	(34)	未払消費税	(431)
繰延税金資産	(663)	繰延税金負債	(304)
建物	(3,570)	リース債務	(1,859)
土地	(16,800)	リース資産減損勘定	(988)
リース資産	(1,732)	長期借入金	(5,000)
満期保有目的債券	(990)	退職給付引当金	(600)
投資有価証券	(640)	資本金	(17,000)
破産更生債権等	(300)	資本剰余金	(5,000)
売上原価	(15,444)	利益剰余金	(8,071)
貸貸原価	(300)	その他有価証券評価差額金	(24)
販売費	(1,524)	売上	(23,760)
一般管理費	(2,674)	貸貸収入	(400)
建物減価償却費	(270)	受取配当金	(35)
リース資産減価償却費	(866)	受取利息	(74)
退職給付費用	(160)	有価証券利息	(40)
貸倒引当金繰入	(610)	有価証券運用益	(40)
租税公課	(431)	法人税等調整額	(175)
支払利息	(235)		
減損損失	(988)		
法人税等	(800)		
	(75,547)		(75,547)

第 125 回簿記検定試験答案用紙

氏名

1 級 ②

会 計 学

試験地(会議所名)	採 点 欄

第 1 問

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適当な語句
1	b	総額で売上高
2	○	
3	b	特別利益
4	b	ヘッジ手段
5	a	継続企業

採 点 欄

第 2 問

問 1

I 欄 資産 A の簿価	II 欄 資産 A の減損損失
¥ 59,500,000	¥ 31,416,800

問 2

	I 欄 各資産の簿価	II 欄 各資産の減損損失
資産グループ B	¥ 12,500,000	¥ 3,400,000
資産グループ C	¥ 2,812,500	¥ 512,500
共用資産	¥ 62,500,000	¥ 2,050,000

第 3 問

負	債	と	は	、	過	去	の	取	引
等	の	結	果	と	し	て	、	報	告
主	体	に	生	じ	る	経	済	的	資
源	の	放	棄	も	し	く	は	、	引
き	渡	す	義	務		で	あ	る	。

受験
番号

--	--	--	--	--

第 125 回簿記検定試験答案用紙 _____

試験地 (会議所名)	採 点 欄

1 級 ③

工 業 簿 記

第 1 問
問 1

採 点 欄

損 益 計 算 書		(単位：円)
売上高		25,000,000
売上原価		
標準売上原価	(14,800,000)	
標準原価差異	366,600	(15,166,600)
売上総利益		(9,833,400)
販売費及び一般管理費		4,155,400
営業利益		(5,678,000)

問 2

①	7,920,000 円	②	105,600 円	③	2,850,000 円
④	3,758,400 円	⑤	230,600 円	⑥	16,280,000 円

問 3

材料受入価格差異		90,000 円 (借)
直接材料費差異	材料消費量差異	105,600 円 (借)
直接労務費差異	労働賃率差異	64,000 円 (借)
	労働時間差異	33,600 円 (貸)
製造間接費差異	予 算 差 異	37,000 円 (借)
	能 率 差 異	14,400 円 (貸)
	操 業 度 差 異	208,000 円 (借)

(注) 金額の後の () 内には、借方差異ないし不利差異であれば、「借」または「不利」、貸方差異ないし有利差異であれば、「貸」または「有利」と記入しなさい。

第 2 問

①	経営管理者の各階層	②	原価管理	③	原価能率
④	予算	⑤	予算統制	⑥	利益目標
⑦	調整	⑧	予算原価	⑨	標準原価

原 価 計 算

試験地 (会議所名)	採 点 欄

問 1

採 点 欄

(1) 製品Bの製造・販売を開始した後は、製品Aを3個製造した場合には、製品Bの製造を何個犠牲にすることになるか。

4 個

採点欄

(2) 製品Bの製造を1個犠牲にするといくらの利益を失うか。

4,000 円

(3) 製品Aを3個製造すると、購入済みの材料aを売却した場合に得られるであろう収益をいくら犠牲にするか。

3,000 円

(4) 製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを3個製造することの機会原価はいくらか。

19,000 円

問 2

製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを1,500個製造、販売することは、製品Bのみを製造、販売する場合に比べて

500,000 円

有利
不利

(いずれかを○で囲む)

問 3

アタッチメントをレンタルしない場合と比べて、このアタッチメントをレンタルするほうが、1ヵ月当たり

3,750,000 円

有利
不利

(いずれかを○で囲む)

採点欄

問 4

(1) 81,120,000 円

(2) 64,480,000 円

(3) 65,400,000 円

(4) 90,955,688 円

商業簿記解説(単位：千円)

[資料Ⅱ]

1

土地	4,800	／	長期借入金	5,000
固定資産売却益	2,200	／	投資有価証券	2,000
貸貨原価	300	／	貸貨収入	400
支払利息	100			

2

破産更正債権等	300	／	長期貸付金	300
貸倒引当金繰入	610	／	貸倒引当金	610

(1) $(2,000 - 400) \times 30\% = 480$

(2) $\{(4,000 + 12,000) - 2,000\} \times 2\% = 280$

(3) $300 - 250 = 50$

設定額 $\frac{480}{\quad} + \frac{50}{\quad} = 810 - 200 = 610$

繰入額 $810 - 200 = 610$

3

仕入	4,020	／	繰越商品	4,020
繰越商品	3,276	／	仕入	3,276

原価率： $\frac{4,020 + 14,700}{5,750 + 20,770 + 2,880 - 600} = 0.65$

期末商品棚卸高： $5,040 \times 0.65 = 3,276$

4

有価証券	40	／	有価証券運用益	40
投資有価証券	40	／	繰延税金負債	16
		／	その他有価証券評価差額金	24
満期保有目的債券	10	／	有価証券利息	10

A社株式：時価420－帳簿価額380＝40(評価益)

B社株式：時価640－帳簿価額600＝40(評価益)

繰延税金負債 $40 \times 40\% = 16$ その他有価証券評価差額金 $40 - 16 = 24$

C社社債：償却額 $(1,000 - 970) \div 3 \text{年} = 10$

5

リース債務	865	／	現金預金	1,000
支払利息	135	／		
リース資産減価償却費	866	／	リース資産	866
減損損失	988	／	リース資産減損勘定	988
繰延税金資産	395	／	法人税等調整額	395

当期末リース債務の残高： $1,000 \times 1.8594 = 1,859.4 \rightarrow 1,859$

リース債務の返済額： $2,724 - 1,859 = 865$

減価償却費： $2,598 \div (5 \text{年} - 2 \text{年}) = 866$

減損損失：帳簿価額 $2,598 - 866 = 1,732 >$ 使用価値 $400 \times 1.8594 = 743.76 \rightarrow 744$
 $1,732 - 744 = 988$

繰延税金資産： $988 \times 40\% = 395.2 \rightarrow 395$

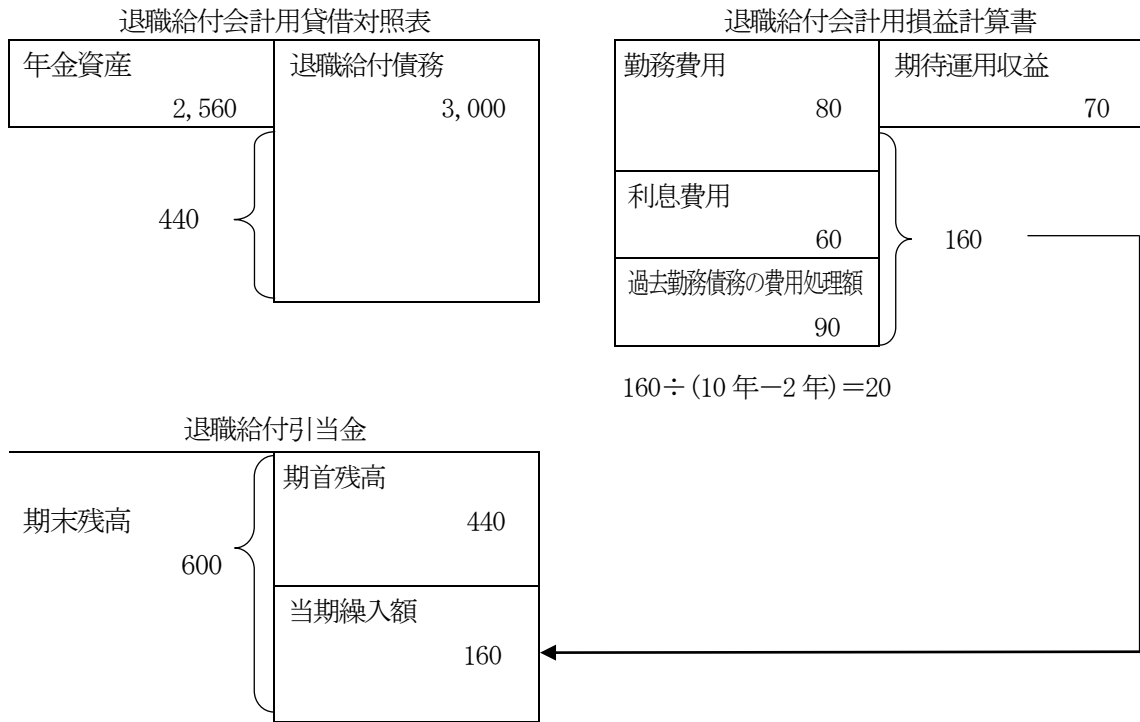
建物減価償却費	270	／	建物	270
---------	-----	---	----	-----

取得原価： $X - 0.9X \times 8 \text{年} / 20 \text{年} = 3,840$ $X = 6,000$

減価償却費： $6,000 \times 0.9 \div 20 \text{年} = 270$

6

退職給付費用 160 / 退職給付引当金 160



7

租 税 公 課 431 / 未 払 消 費 税 431
 仮受消費税：売上高 23,760 × 5% / 105% = 1,131.42 → 1,131
 仮払消費税：仕入高 14,700 × 5% / 105% = 700
 納付額：1,131 - 700 = 431

8

前 払 費 用 38 / 販 売 費 12
 一 般 管 理 費 26
 販 売 費 36 / 未 払 費 用 36
 未 収 収 益 34 / 受 取 利 息 34

9

法人税等調整額 200 / 繰延税金資産 200
 繰延税金資産 268 / 法人税等調整額 268
 法人税等調整額 288 / 繰延税金負債 288
 当期分繰延税金資産：670 × 40% = 268
 当期分繰延税金負債：720 × 40% = 288

10

法 人 税 等 800 / 仮 払 金 400
 未 払 法 人 税 等 400

会計学解説

第2問 (単位:円)

問1

減損損失を認識するかどうかの判定

帳簿価額

$$100,000,000 - (100,000,000 \times 0.9 \times 18 \text{年} / 40 \text{年}) = 59,500,000$$

割引前将来キャッシュ・フローの合計

$$2,000,000 \times 20 \text{年} + 1,000,000 \times 2 \text{年} + 100,000 = 42,100,000$$

$$59,500,000 > 42,100,000 \quad \therefore \bigcirc$$

減損損失の測定

割引後将来キャッシュ・フロー(使用価値)

$$2,000,000 \times 13.590 = 27,180,000$$

$$1,000,000 \times 0.439 = 439,000$$

$$1,000,000 \times 0.422 = 422,000$$

$$100,000 \times 0.422 = 42,200$$

$$\underline{\underline{28,083,200}}$$

$$\text{使用価値 } 28,083,200 < \text{正味売却価額 } 25,000,000 \quad \therefore \text{回収可能価額 } 28,083,200$$

$$\text{減損損失 } 59,500,000 - 28,083,200 = 31,416,800$$

問2

資産グループB

減損損失を認識するかどうかの判定

$$\text{減価償却費 } 2009 \text{年 } 3 \text{月 } 50,000,000 \times 1 \text{年} / 5 \text{年} \times 250\% = 25,000,000$$

$$50,000,000 \times 0.06249 = 3,124,500 \quad \therefore \text{多い金額 } 25,000,000$$

$$2010 \text{年 } 3 \text{月 } (50,000,000 - 25,000,000) \times 1 \text{年} / 5 \text{年} \times 250\% = 12,500,000$$

$$(50,000,000 - 25,000,000) \times 0.06249 = 1,562,250$$

$$\therefore \text{多い金額 } 12,500,000$$

帳簿価額

$$50,000,000 - (25,000,000 + 12,500,000) = 12,500,000$$

割引前将来キャッシュ・フローの合計 10,000,000

$$12,500,000 > 10,000,000 \quad \therefore \bigcirc$$

減損損失の測定

$$\text{減損損失 } 12,500,000 - 9,100,000 = 3,400,000$$

資産グループC

減損損失を認識するかどうかの判定

$$\text{減価償却費 } 2009 \text{年 } 3 \text{月 } 20,000,000 \times 1 \text{年} / 4 \text{年} \times 250\% = 12,500,000$$

$$20,000,000 \times 0.05274 = 1,054,800 \quad \therefore \text{多い金額 } 12,500,000$$

$$2010 \text{年 } 3 \text{月 } (20,000,000 - 12,500,000) \times 1 \text{年} / 4 \text{年} \times 250\% = 4,687,500$$

$$(20,000,000 - 12,500,000) \times 0.05274 = 395,550$$

$$\therefore \text{多い金額 } 4,687,500$$

帳簿価額

$$20,000,000 - (12,500,000 + 4,687,500) = 2,812,500$$

割引前将来キャッシュ・フローの合計 2,500,000

$$2,812,500 > 2,500,000 \quad \therefore \bigcirc$$

減損損失の測定

$$\text{減損損失 } 2,812,500 - 2,300,000 = 512,500$$

第1問

生産データ		販売データ	
月初 500個 (200個)	完成品 1,100個 (1,100個)	月初 0個	完成品 25,000,000 ÷ @25,000
当月投入 900個 (1,080個)	月末 300個 (180個)	当月完成 1,100個	1,000個 月末 100個

問1

損益計算書

売上原価 $14,800 \text{円} \times 1,000 \text{個} = 14,800,000 \text{円}$

問2

材料勘定

当月仕入高 $9,000\text{kg} \times 880 \text{円} = 7,920,000$

①当月消費高 $(10\text{kg} \times 900 \text{個}) \times 880 \text{円} = 7,920,000$

②原価差異 貸借差額

製造間接費勘定

④配賦額 $3,480 \text{円} \times 1,080 \text{個} = 3,758,400 \text{円}$

③固定費 $3,989,000 \text{円} - 1,139,000 \text{円} = 2,850,000 \text{円}$

⑤原価差異 $37,000 \text{(不利差異)} + 14,400 \text{(有利差異)} + 208,000 \text{(不利差異)} = 230,600 \text{(不利差異)}$

仕掛品勘定

月初有高

直接材料費 $8,800 \text{円} \times 500 \text{個} = 4,400,000 \text{円}$

直接労務費 $2,520 \text{円} \times 200 \text{個} = 504,000 \text{円}$

製造間接費 $3,480 \text{円} \times 200 \text{個} = \underline{696,000 \text{円}}$

合計 5,600,000 円

当月投入費用

①直接材料費 $8,800 \text{円} \times 900 \text{個} = 7,920,000 \text{円}$

直接労務費 $2,520 \text{円} \times 1,080 \text{個} = 2,721,600 \text{円}$

④製造間接費 $3,480 \text{円} \times 1,080 \text{個} = 3,758,400 \text{円}$

⑥完成品原価 $14,800 \text{円} \times 1,100 \text{個} = 16,280,000 \text{円}$

月末仕掛品原価

直接材料費 $8,800 \text{円} \times 300 \text{個} = 2,640,000 \text{円}$

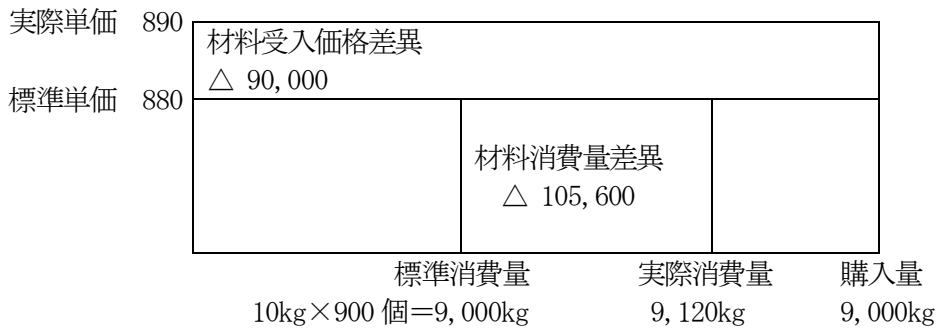
直接労務費 $2,520 \text{円} \times 180 \text{個} = 453,600 \text{円}$

製造間接費 $3,480 \text{円} \times 180 \text{個} = \underline{626,400 \text{円}}$

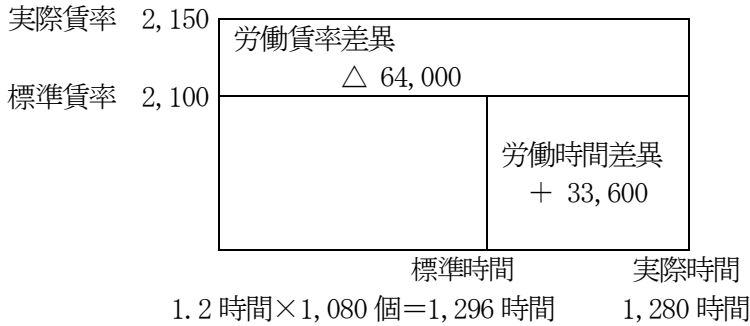
合計 3,720,000 円

問3

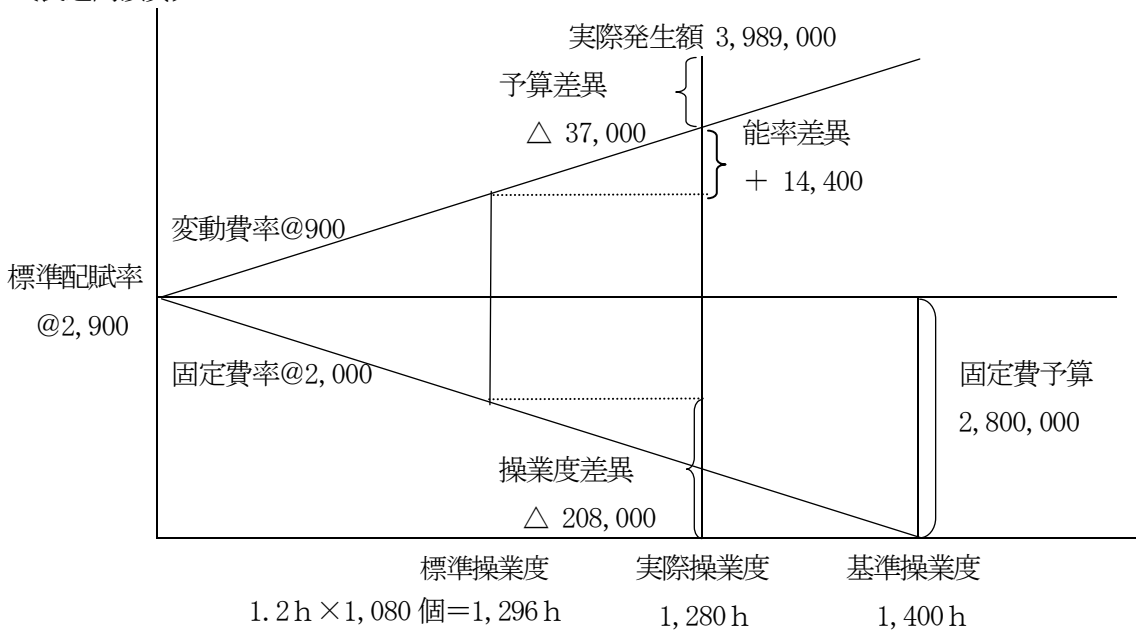
〔直接材料費〕



〔直接労務費〕



〔製造間接費〕



材料消費量差異 105,600 円(不利差異) + 労働賃率差異 64,000 円(不利差異) + 労働時間差異 33,600 円(有利差異) + 能率差異 14,400 円(有利差異) + 操作度差異 208,000 円(不利差異) = 329,600 円(不利差異)

予算差異 366,600 円(不利差異) - 329,600 円(不利差異) = 37,000 円(不利差異)

① 材料 a の売却収入

現金預金	10,000,000	材料	22,000,000
材料売却損	12,000,000		

② 材料 a の売却損に対する法人税節約額

$$12,000,000 \times 40\% = 4,800,000$$

③ 売上高 (8,000個×12ヵ月) × @7,000 = 672,000,000

④ 直接材料費 (材料 b) (8,000個×12ヵ月) × @3,000 = 288,000,000

⑤ 直接労務費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑥ 製造間接費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑦ 法人税等の支払額

売上高	672,000,000
直接材料費	288,000,000
直接労務費	120,000,000
製造間接費	120,000,000
税引前当期純利益	144,000,000
法人税等	57,600,000
税引後当期純利益	86,400,000

<アタッチメントを購入する案> 製品 B を 1 ヶ月 9,000 個と製品 A を 1 ヶ月 750 個製造・販売する

現在 (T ₀)	1年後 (T ₁)	2年後 (T ₂)	3年後 (T ₃)
(2010 年度末)	(2011 年度末)	(2012 年度末)	(2013 年度末)

			⑧ 5,000,000
in	② 810,000,000	② 810,000,000	② 810,000,000
out	① 90,000,000	③ 324,000,000	③ 324,000,000
	⑤ 120,000,000	④ 16,000,000	④ 18,000,000
	⑥ 120,000,000	⑤ 120,000,000	⑤ 120,000,000
	⑦ 78,480,000	⑥ 120,000,000	⑥ 120,000,000
		⑦ 79,120,000	⑦ 81,200,000

△ 90,000,000	+ 167,520,000	+ 150,880,000	+ 151,800,000
--------------	---------------	---------------	---------------

現在 △ 90,000,000 円

1年後 + 167,520,000 × 0.9615 = + 161,070,480 円

2年後 + 150,880,000 × 0.9246 = + 139,503,648 円

3年後 + 151,800,000 × 0.8890 = + 134,950,200 円

正味現在価値 + 345,524,328 円

① アタッチメントの取得原価

② 売上高 (製品 B) (9,000個×12ヵ月) × @7,000 = 756,000,000

(製品 A) (750個×12ヵ月) × @6,000 = 54,000,000

810,000,000

③ 直接材料費 (材料 b) (9,000個×12ヵ月) × @3,000 = 324,000,000

④ 直接材料費 (材料 a)

2012年度末 {(750個×12ヵ月) - (10,000個 - 750個×12ヵ月)} × @2,000 = 16,000,000

2013年度末 (750個×12ヵ月) × @2,000 = 18,000,000

⑤ 直接労務費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑥ 製造間接費 10,000,000 × 12ヵ月 = 120,000,000

⑦法人税等の支払額

	2011年度末	2012年度末	2013年度末
売上高	810,000,000	810,000,000	810,000,000
直接材料費	343,800,000	342,200,000	342,000,000
直接労務費	120,000,000	120,000,000	120,000,000
製造間接費	120,000,000	120,000,000	120,000,000
減価償却費	30,000,000	30,000,000	30,000,000
固定資産売却益	—	—	5,000,000
税引前当期純利益	196,200,000	197,800,000	203,000,000
法人税等	78,480,000	79,120,000	81,200,000
税引後当期純利益	117,720,000	118,680,000	121,800,000

直接材料費

2011年度末	材料b	$(9,000 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @3,000 = 324,000,000$	
	材料a	$(750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @2,200 = \underline{19,800,000}$	
			<u>343,800,000</u>
2012年度末	材料b	$(9,000 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @3,000 = 324,000,000$	
	材料a	$10,000 \text{ 個} - 750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月} \times @2,200 = 2,200,000$	
		$\{(750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) - 1,000 \text{ 個}\} \times @2,000 = \underline{16,000,000}$	
			<u>342,200,000</u>
2013年度末	材料b	$(9,000 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @3,000 = 324,000,000$	
	材料a	$(750 \text{ 個} \times 12 \text{ ヲ月}) \times @2,000 = \underline{18,000,000}$	
			<u>342,000,000</u>

減価償却費 $90,000,000 \div 3 \text{ 年} = 30,000,000$

⑧2013年度末のアタッチメントの売却

現金預金	5,000,000	設	備	90,000,000
減価償却累計額	90,000,000	固定資産売却益		5,000,000

- (1) $+167,520,000 - +86,400,000 = +81,120,000$
- (2) $+150,880,000 - +86,400,000 = +64,480,000$
- (3) $+151,800,000 - +86,400,000 = +65,400,000$
- (4) $+345,524,328 - +254,568,640 = +90,955,688$